

カンムリカイツブリ（カイツブリ科） 全長56センチ

横手市内の蛭藻沼は、県内でも数少ないカンムリカイツブリの繁殖地となっている。ここで一連の繁殖行動が撮影できました。

6月初旬、2羽のカンムリカイツブリがせっせと巣材を運んでいた。巣を作る材料として沼に生息する浮草や細長いイグサなど周囲から運び、一か所に積み重ねている。間もなく完成だろうか。

数日後に訪れると、2羽のカンムリカイツブリはぴったりと寄り添いながら、息の合ったダンスが始まった。冠羽を立てながら、頭を下げたり上げたりしながら向き合い、一緒に右を向き、こんどは左を向き、テンポのいい動きはいかにも〇〇ダンスに見えます。（社交ダンスのジルバかワルツかは分かりませんが・・・）こうした行動が数分間つづいた。そのあとメスが巣に上がり、めでたく交尾となりました。



協力して巣材を運んでいます。

そのあとメスが巣に上がり、めでたく交尾となりました。抱卵期間は20～25日ほど。孵化した雛は暫く親の背中で過ごします。

やがて親の背中から下ろされると、水面をすいすい泳ぎながら親の後を追いかけて餌をねだります。この頃が一番可愛く、いつまで見ていても飽きません。



大分頑丈になりました。



冠羽を立て、向き合っています。

今ごろは、親鳥と同じ位に大きく育っているでしょう。
雛の縞模様はゼブラパターンと言われ、直ぐ見分けがつかます。



一緒に右を向いたり左を向いたり、頭をもたげます。



抱卵中のようだ。



縞模様のヒナが、親に餌をねだります。